

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年12月22日

計画の名称	バランスのとれた都市構成を実現する												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	柏市												
計画の目標	公共施設及び宅地等の都市基盤整備を推進し、都市機能と住居環境のバランスを図り、魅力と競争力ある拠点の形成や誰もが暮らしやすいまちづくりを進める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,680	A	1,680	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	都市基盤が整備された面積の割合を2%(H27)から39%(H31)に増加させる。 都市基盤が整備された面積(使用収益開始面積等)を算出し、全体面積に占める割合を算出する。 (基盤整備率) = (対象面積 × 使用収益開始率等) / (対象面積)	2%	%	39%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	柏市	直接	柏市	-	-	北柏駅北口地区	区画整理 A = 1 2 . 3 h a	柏市						1,680		未策定	
												小計						1,680		
											合計						1,680			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
柏市関係部署内で実施	令和3年12月実施
	公表の方法
	市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	北柏駅北口地区においては、流域面積7.4ha(全体面積の60%)の1号調整池整備が完了し、平成30年度から宅地の使用収益を開始している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
北柏駅北口地区については、令和2年度に事業計画変更(第5回)を行い、工事資材の物価高騰による工事費の増加及び国道施工範囲(電線共同溝移設)の拡大による工事費の増加等により、事業費を約3.5億円増額し事業期間を2年延伸し、令和7年度完了に向け、社会資本整備総合交付金等を活用し本事業を継続する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	都市基盤整備面積の増加	
	最終目標値	39%
	最終実績値	19%
		<p>目標値を下回った主な要因は、北柏駅北口駅前広場周辺地区の一部宅地（1.13ha）の使用収益開始時期を平成30年度から令和5年度へ見直したためである。使用収益開始時期を見直した理由は、柏市第五次総合計画、柏市都市計画マスタープラン、柏市立地適正化計画において、当該区域は商業、子育て機能の誘導を進めるという方針が示されたことにより、平成29年度から、土地所有者と柏市で民間事業を活用した施設整備に向けた協議を行い、合意したためである。</p> <p>令和3年度には、商業施設や子育て関連施設の整備を含む北柏駅北口駅前広場周辺地区一体的土地活用事業として公募を開始している。</p>